

日日の安全管理

伊那・庶務課厚生係 小池 益夫

要 旨

危険を防止するためには、

常に正しい安全行動を推進することにより、突然起きる危険に対応できる敏しょう性、事前に危険を予測しうる判断力等を、常日頃から培っておくことが重要である。

このような観点から、職場の全員が安全意識の高揚と、「自分の体は自から守る」努力目標を設定し、毎日の作業行動等について各自がチェックする日々の安全管理の習慣化を推進してきた。

日々の安全管理は、57年度から点検表により継続されており、昨年度6件の災害が現在1件の発生にとどまり徐々にその成果が現われている。

はじめに

安全活動は、人からいわれたり命令されたからやるといような安全活動であってはならない。職場の安全は自ら守り実践するものであることを銘記し、常に正しい安全活動を遂行すること。さらに、自からを熟知して、あらゆる危険に対処できる、判断力、敏感に対応しうる安全行動・対策がとれるような安全活動の定着化を図ること。以上が潜在的危険の多い自然や、多岐に亘る作業環境にある。我々の職場にあっては、極めて重要な課題である。

I 第1次労働災害防止5ヶ年計画（昭和48年～52年）期間における当署の災害の発生は年平均8件で、第2次計画期間中は、年平均6件である。平均数値では減少しているものの、過去10ヶ年間の実態を顧みると、最高13件、最低2件で、隔年ごとに前年を上廻る傾向を繰り返している。

このような状況をふまえ災害原因を分析・反省するなかから「自分の体は自分で守る」との基本原則に立ち、各人が初心にかえり、努力目標を定め目的意識をもった安全活動を推進している。さらに、従来からの悪弊を排除し、第3次労働災害防止計画の致達目標としている安全意識に回って「日々の安全点検表」による安全活動を推進してきたので、その経過等について発表する。

II 実施方法について

別表「日々の安全点検表」により各自が概ね一ヶ月を単位として安全目標を設定し、その目標を実践するにあたっての毎日の行動作業手順等について、点検・反省結果を記録する。月末には事業所ごとに取纏めて、営林署に報告する

III 実施にあたっては記名することとし、目標設定にあたっての基準は、

1. 統一的な目標

全署、事業所ごとに統一して、事業、季節、項目ごとに

2. グループ的な目標

職種、セット、作業別に

3. 自主的な目標

各人ごとの努力目標をきめる。

以上により実施を図ったが、種々意見もあり、無記名とし、評価チェック等も記録し易くした。また、目標設定にあたっては、自主的な目標のみに限定して、57年5月から実施した。その後、57年8月の10号台風災害により、職員が他署へ移動したため一時中断したが、現在まで継続実施している。

IV 各自が設定した「安全目標」は次のとおりである。

1. 明るい職場作りについて

- 朝夕の挨拶の励行
- 節度ある行動をとる
- よい雰囲気作りに注意する
- 職場環境の整理整頓
- やる気で物事を進める
- 話をしながら仕事をしない

- 初心にかえった気持で作業する
- 歩行中の「タバコ」に注意
- 完全な服装をする
- 職場から災害を出さない
- 掃除、邪魔物の片づけ注意

2. 自主的健康管理の実践

- 朝の体操励行
- 早寝早起きの励行
- 十分な睡眠をとる
- 疲労回復につとめる
- 肌着の取替注意
- 乾布摩擦の励行
- 「ウガイ」の励行
- 風邪等早目の治療に注意
- 鉄梯のぶら下り励行
- 着ぶくれ注意

- 腰痛体操、防止の励行
- 中腰で重量物を持たない
- 節煙に注意
- 暴飲、暴食に注意
- 火傷に注意
- 保安帽の完全着装
- 防護メガネの着用注意
- 耳栓の着用励行
- 振動防止用具の完全着用

3. 交通災害防止の推進

- 黄信号でとび出さない
- 一時停止の励行
- 方向指示器を早めに出す
- バイクのヘルメットの着用
- 車間距離に注意
- シートベルトの完全着装
- 同乗者のシートベルト注意
- チェーン脱着の励行
- ゆとりある運転励行
- ライトの早目点灯
- 雪道、凍結路スリップ注意
- 急ブレーキの注意

- 交差点の除行安全確認
- 悪天悪路に注意
- カーブミラーによる対向車確認
- わき見運転に注意
- バックで車庫から出す時の安全確認
- 崩落土砂排除作業時の見張励行
- アタッチメント脱着時の安全確認
- 始動前後の安全確認
- ブレーキの安全点検
- 路肩崩落土に注意
- 雪崩等上方注意
- 林道での無理な方向転換注意

- 重量物運搬時の安全確認の励行
 - 雪道での路肩注意
 - 危険箇所は車を降りて安全確認
 - 車輛整備点検時の危険防止
4. 作業準備, 災害防止について
- 基本姿勢の定着化推進
 - 基本動作の徹底励行
 - 事前点検, 事後整備の励行
 - 信号, 合図の事前確認
 - 作業前, 周囲の安全確認
 - 安易感からの不安全行動の注意

- 除雪作業での見張等安全確認
- 排土作業時の道下注意
- 軟弱道路の運転注意
- 飛来・落下物件の未然防止
- ワイヤーのハネ返り注意
- 集材線上方の重垂確認注意
- 機械車輛等の発進時合図確認
- 刃物に覆いをつける

5. 安全確認, 危険排除について

- 伐倒方向の安全確認
- 伐倒前上方枝条確認注意
- かかり木, 枝がらみ木注意
- 周囲に風害枯損木はないか
- 周囲の地形状態注意
- 上下作業の注意
- 伐倒合図補助者の退避確認
- 手元のボサ, つる除去に注意
- 玉がけ, 玉はずしに注意
- 頭上落下物に注意
- 検知作業時吊荷重垂に注意
- 下土場のチェーンソー間隔に注意
- 足元浮石, 上方落石に注意
- 滑り易い丸木上の作業注意
- 桟積作業中の転落に注意
- 滑落, 転倒注意
- 急斜地の足場に注意

- 凍結防止足元確認
- 歩道の危険支障木早期除去
- 降雨降雪時の坂路通路注意
- 歩道棧確認歩行
- 鎌の大振り注意
- 唐鋸の振り下しに注意
- 鎌の砥ぎ外しに注意
- 刃物類の取扱い, 持運びに注意
- 上のはね返りに注意
- 除伐作業, つる, 小枝に注意
- 除伐あと通行に注意
- 鎌の柄持つ手の位置注意
- 歩行中のタバコ, 焚火跡に注意
- 油類の取扱, 火傷に注意
- ガスの取扱に注意
- 熔接火花に注意

6. 完全退避の励行

- 退避場所の適否
- 退避の距離は安全か
- 退避方法はもう一度確めて
- 退避路に障害物はないか取除き注意

- 退避路周囲上方確認
- 退避時の合図, 補助者の位置確認
- 盤台選木作業の退避に注意
- 退避時の滑りに注意

V 以上, 各自が努力目標を設定し, 毎日点検, 反省, 記録する「日々の安全管理」の2年間に亘る実践の中から, 同一目標を継続実践している者のなかには, 一定の成果を得ている様子も見受けられる。正しい安全管理の実践と声掛運動とあいまって前年度災害発生件数は6件であった。さら

に, 今年度は現時点で1件にとどまっている。

日々の安全点検表

職場における安全活動推進のためよいことを習慣化しましょう。

「習慣」とは同じことを繰り返し行って自然にそうすることがその人のきまりになってしまうこと
(辞典より)

各自の努力目標を定め期間を設定して毎日自分自身を点検反省評価してみませんか(自分自身に辛棒強くなれ)

- 設定目標 1.
2.
3.

期間 自 月 日 至 月 日

目標	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	反省評価	
		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	反省評価

ヒヤットしたこと。
見ていて危険だなあと感じたこと。